

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第4区分

【発行日】平成17年10月6日(2005.10.6)

【公開番号】特開2000-280620(P2000-280620A)

【公開日】平成12年10月10日(2000.10.10)

【出願番号】特願平11-89012

【国際特許分類第7版】

B 4 1 M 5/26

G 1 1 B 7/24

// C 0 7 D 239/88

【F I】

B 4 1 M 5/26 Y

G 1 1 B 7/24 5 1 6

C 0 7 D 239/88

【手続補正書】

【提出日】平成17年5月26日(2005.5.26)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】光記録媒体及びその記録層用化合物

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

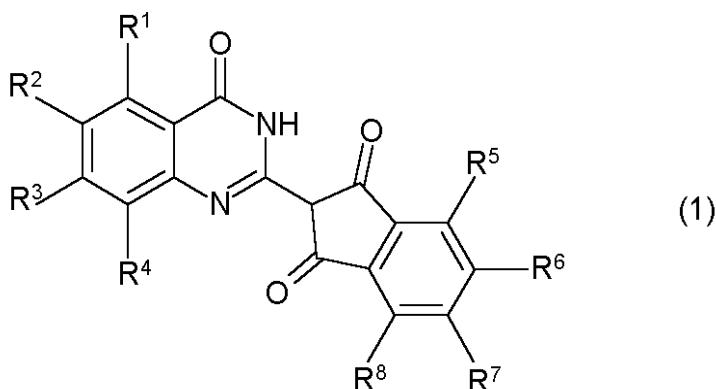
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

基板上に少なくとも記録層および反射層を有する光記録媒体において、記録層中に、互変可能な構造の一つとして一般式(1)で示される化合物を含有する光記録媒体。

【化1】



〔式中、 R^1 、 R^2 、 R^3 、 R^4 、 R^5 、 R^6 、 R^7 、 R^8 はそれぞれ独立に、水素原子、ハロゲン原子、シアノ基、置換または無置換のアルキル基、アラルキル基、アリール基、アルコキシ基、アラルキルオキシ基、アリールオキシ基、アルケニル基、アルケニルオキシ基、アルキルチオ基、アラルキルチオ基、アリールチオ基、アルケニルチオ基、アルキルアミ

ノ基、アラルキルアミノ基、アリールアミノ基、アルケニルアミノ基、アシル基、アルコキシカルボニル基、アラルキルオキシカルボニル基、アリールオキシカルボニル基、アルケニルオキシカルボニル基、アルキルアミノカルボニル基、アラルキルアミノカルボニル基、アリールアミノカルボニル基、アルケニルアミノカルボニル基、複素環基、アルキルスルホニル基、アリールスルホニル基を表す。]

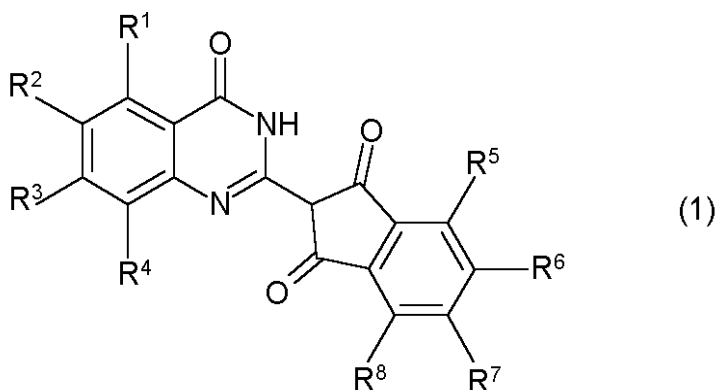
【請求項 2】

波長 400 nm ~ 500 nm の範囲から選択されるレーザー光に対して記録および再生が可能である請求項 1 の光記録媒体。

【請求項 3】

互変可能な構造の一つとして一般式 (1) で示される構造を有する化合物。

【化 101】



〔式中、R¹、R²、R³、R⁴、R⁵、R⁶、R⁷、R⁸はそれぞれ独立に、水素原子、ハロゲン原子、シアノ基、置換または無置換のアルキル基、アラルキル基、アリール基、アルコキシ基、アラルキルオキシ基、アリールオキシ基、アルケニル基、アルケニルオキシ基、アルキルチオ基、アラルキルチオ基、アリールチオ基、アルケニルチオ基、アルキルアミノ基、アラルキルアミノ基、アリールアミノ基、アルケニルアミノ基、アシル基、アルコキシカルボニル基、アラルキルオキシカルボニル基、アリールオキシカルボニル基、アルケニルオキシカルボニル基、アルキルアミノカルボニル基、アラルキルアミノカルボニル基、アリールアミノカルボニル基、アルケニルアミノカルボニル基、複素環基、アルキルスルホニル基、アリールスルホニル基を表す。〕

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0001

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0001】

【発明の属する技術分野】

本発明は、光記録媒体に関するものであり、特に青色レーザー光により記録・再生可能である化合物含有の追記型光記録媒体に関する。また、本発明は、その化合物に関する。